

2008 JSDE / hk

発行 社団法人日本設計工学会北海道支部

監修 竹内 茂 (支部長)、菅原幸夫 (幹事・HP 委員)

平成 19 年度 支部特別講演会

平成 20 年 3 月 25 日 (火), 支部総会に引き続き特別講演会を開催しました. その概要を報告いたします.

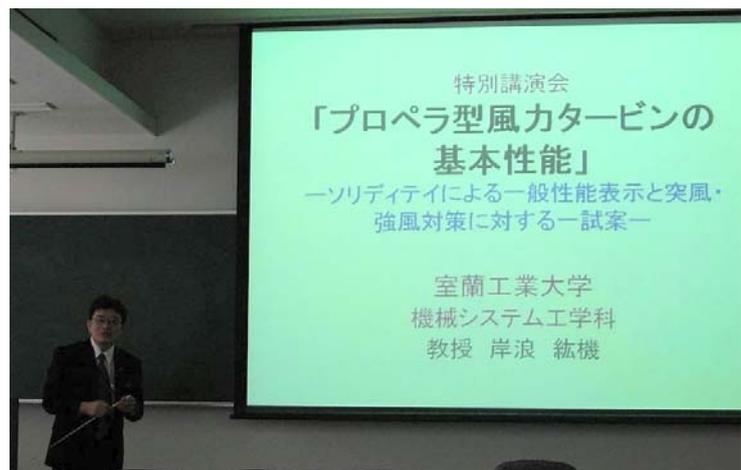
はじめに, 北海道大学工学系 教育研究センター長 教授 野口 徹 氏より, 「機械・構造物の破壊事故はどのようにして起こるかー破損解析法による原因調査ー」と題する講演がありました. 通常の事故調査では見逃されたり見誤ってしまうような破壊事故の真の原因について, 材料の破断面などから読み取り明らかにしてきた数々の事例により解説して下さいました. 材料の破断面から大事故の原因を突き止めていくストーリー展開は, まるで推理小説の名探偵がトリックを明かしていくようで, 門外漢の筆者にも解り易く, たいへん有意義な講演でした.



野口 徹 氏 ご講演

続いて,

室蘭工業大学工学部 教授 岸浪 紘機 氏により, 「プロペラ型風力タービンの基本性能ーSolidity 因子による一般性能表示と強風・突風対策に対する一試案ー」と題する講演がありました. 岸浪先生の教育・研究人生を織り交ぜながら, ご考案された独創的な研究成果が, 当初はなかなか受け入れられなかったことなどを紹介いただき, 研究の楽しさややりがいを教えて頂きました.



岸浪 紘機 氏 ご講演

おわりに, ご講演いただいたご両名に紙面を借りあらためてお礼申し上げます.

(文責: 幹事 平元理峰)